

平成23年度

大河原教育事務所管内の志教育の取組

I はじめに

今年度、それぞれの学校において各学年の志教育の年間指導計画が作成され、志教育の実践が行われました。その取組について「志教育の実践事例」として冊子にまとめました。

また、「～夢をもち、志を成し遂げた郷土の人々～」を発刊し、郷土の偉人について子どもたちが学び、自分の夢を志に高め、自らの生き方を主体的に探究していってくれることを願っています。

2月15日には、角田中学校区の「志教育事例発表会並びに講演会」が行われ、大勢の皆様にご参加いただきました。

II 管内の志教育の特色ある実践例

【白石市立福岡小学校の志教育の取組】

活動名「被災地訪問交流学習」 第5学年 総合的な学習の時間（30時間）

志教育の視点 【かかわる】

被災地の現状やそこで生活して復旧・復興へ力強く歩みだそうとしている人の思いに気付くことで、今、自分にできること、人のために役立つという気持ちを育む。

- 東日本大震災を振り返ろう（3時間）
- これから学びたいこと、調べたいことをつかもう（3時間）
- 実際に訪問して、被災地の現状を知ろう（7時間）
- 学んできたことをまとめ、みんなに伝えよう（17時間）



【被災地区の様子】



【被災市内の様子】



【小学校との交流の様子】



【報告会（朝会）】

【蔵王町立遠刈田小学校の志教育の取組】

活動名「偉人の業績等の紹介とわたしの夢」 全学年 朝会、道徳、国語

【偉人の顔写真と名前、業績等の紹介】

朝会を活用し、志教育担当が世界の偉人の業績やエピソードを紹介し、紹介後肖像写真を昇降口中程に掲示した。これまでで4名の偉人を紹介し、自作道徳資料（偉人の伝記）の配布や図書主任が図書室の本紹介コーナーで偉人の伝記を紹介し、各学年は読書指導の一端に活用するなどした。

【「わたしの夢」（児童氏名・顔写真・希望の職業）の掲示】

児童一人一人に自分の将来なりたい職業を書かせ、理由やどのように夢を追いかけるのか等について、自らの思いや願いを記述させ掲示発表した。

【わたしの夢】



【世界の偉人】



【丸森町立耕野小学校の志教育の取組】

活動名「耕野の素敵な人」調査隊 第1・2学年 生活科・学校行事（26時間）

志教育の視点 【かかわる】【もとめる】

人と出会い・触れ合い・学び合い・発信することにより、よりよい自分を築く。

■ 出会い 「耕野のすてきな人 調べ隊」（9時間）

☆ 耕野地区では、どんな人々が働いているか話し合った。

☆ 耕野地区で働く人々への聞き取りを行い、仕事内容や喜び、苦勞等を調べた。

■ 触れ合い 「働く人の気持ち まとめ隊」（5時間）

☆ 聞き取ったことを、視点に基づいて作品にまとめた。

■ 学び合い 「仕事について 考え隊」（10時間）

☆ 「大人になったらどんな職業に就きたいか」について、じっくり考えた。

■ 発信する 「仕事について伝え隊」（2時間）

☆ 「こうやっ子『学び』のフェスティバル」において発表した。

☆ 耕野のためにできることを考え実行した。



【駐在所にて】

【町づくりセンターにて】

【石材店にて】

【学びのフェスティバル】

【角田市立金津中学校の志教育の取組】

活動名 「よもぎ採り」 全校生徒 生徒会行事

志教育の視点 【かかわる】【もとめる】【はたす】

☆ 生徒たちが自主的に生徒会行事を企画・運営し、よもぎ採りを行うことによって、地域の一員としての自覚を持てるようにする。

☆ 福祉活動の一助としてよもぎ採りの収益金を角田市福祉協議会に届け、自分たちでできる社会貢献について理解するとともに、奉仕の心を育む。

■ 5月6日 奉仕委員会を開催

☆ 生徒会執行部が代表委員会において、よもぎ採りの目的や収益金の活用の仕方について説明を行い、周知及び意欲の向上を図った。

■ 5月10日 生徒集会での呼びかけや学級へのよもぎ採りの目的や方法などの掲示

■ 5月11日 講演会 講師 角田市社会福祉協議会

☆ 福祉・ボランティア活動を身近に感じることができ、自分たちのこれまでの活動が社会貢献できていることを知って、よもぎ採りの意欲を高めることができた。

■ 5月12日 よもぎ採り

☆ クラスごと地区に分かれ、よもぎを収穫。クラス

・個人を収穫量の多さで表彰。

☆ 宮城製粉株式会社へ搬入。

■ 6月 収益金を角田市福祉協議会に生徒会執行部が届ける



【よもぎ採り】